

神奈川県連絡会発足！

川崎市、小田原市、鎌倉市で連続の講演会開催へ！

無防備地域宣言運動神奈川県連絡会 事務局 高畑さん

神奈川県では、05年の藤沢市の運動に続いて、無防備運動に興味のある方が各地でいるにも関わらず、

具体化が進まないという状況が続きました。一方、川崎市では、今年の春から川崎準備会が作られ動き出しました。そこでこの機会をとらえて、神奈川県下で、無防備運動を広げるために連絡会を発足しました。

この連絡会の目的は、県下に新たな無防備運動の芽を育てること、川崎市での無防備運動を支援すること、国民保護計画に対決する運動など地域運動を情報交換し、場合によって支援することです。

今年、6月に横浜で、連絡会の発足を兼ねて全国ネットの矢野さんの講演を行いました。以降、横浜、藤沢、鎌倉で定例会合を行ってききましたが、今後、小田原、川崎、平塚などにも、場所を変えて行う計画です。

無防備地域宣言運動は、憲法9条を活かす運動

8月の連絡会には、参加者の1人から「無防備運動は憲法を守る運動に発展させたらどうか」という意見が出され、これをめぐって議論になりました。有事法など憲法9条の違法化が進む中9条運動だけでは守れない、無防備運動は国際法を使い地域で活動を起こすこと、憲法を生かす運動であるなどの活発な意見がだされました。小田原市から初めて参加した仲間からは、「無防備運動を聞いてはいたが、こういうものがここにきて理解できました。全国や首都圏で広がっているのを聞いて、小田原市でもぜひやってみたい。」という感想がだされました。以降、参加者は、まだ、それほど多くありませんが、これまで、藤沢市、鎌倉市、横浜市、川崎市、平塚市、茅ヶ崎市、小田原市の方が参加しています。

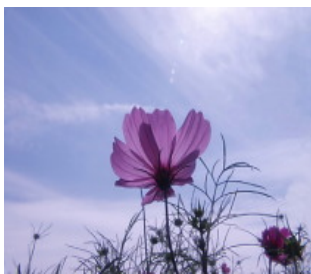
川崎市、小田原市、鎌倉市へと

すでに川崎市では、準備会として活動しており、これまで龍谷大の山内教授の講演、矢野氏の講演会を開催し、賛同人を募る独自活動に着手しています。川崎市の有権者数は約108万人で、7つの行政区に分かれる大都市のために、できる限り多くの協力者を広げていく必要があります。準備会は多摩平和サロンや、かわさき9条の会など、いろんな集会へも参加して呼びかけをしています。

一方、小田原市では、まだ独自の準備会はできていませんが、小田原市の仲間が中国帰還者連絡会という団体や地域の集まりに参加して、この運動を継続して訴えてきています。無防備運動を多くの人に知ってもらうために10月25日に無防備運動の学習会が予定されており、連絡会として協力参加します。連絡会では、11月4、5日に大阪経済法科大の澤野教授をお呼びし、川崎市、小田原市、鎌倉市で連続の講演会を開催することにしました。この講演会には、当該地域だ

けでなく、ほかの地域の方にも呼びかけて県下の運動を一層広げる契機にしていきたいと思えます。鎌倉市では、まだ、検討が始まっているわけではなく、興味を持つ人たちに呼びかけてまず無防備運動を学習してもらうことから始めている段階です。

藤沢市では国民保護計画のパブリックコメントを終え、今後、行政、議会への働きかけ、地域の戦争協力をさせない運動を具体化していきます。安倍内閣が、北朝鮮核実験を契機に戦争準備に動き出している今日、地域で戦争準備を発動させない運動が求められています。連絡会としても、各地の運動と連携してこれを阻止する運動をつくりたい



秋桜